

なんケア通信

第43回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：令和6年8月2日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：44名(地域包括支援センター5名、介護事業所関係者13名、
医療機関関係者23名、福祉用具3名)



演題

『災害時における高齢者医療と介護』

講師：秋田赤十字病院 救命救急センター顧問 藤田 康雄先生

住み慣れている地域に災害が起こり、避難所生活を余儀なくされた高齢者は、環境変化への戸惑いのせいか、睡眠不足になったり、食欲が低下したり、トイレに行きたくないため飲水を我慢したりするなどして、体に悪影響を与えてしまいます。こうしたことが起こらないよう、高齢者を意識した避難所の環境整備が重要となってきます。また、地域の医療職は、高齢者と日頃から信頼関係を築き、環境変化についての説明・理解をすることが大切です。

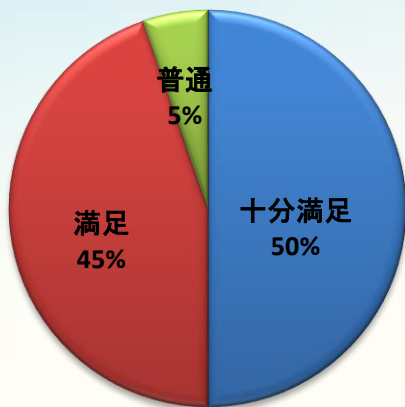
災害はいつ起こるか分かりません。災害弱者となりえる高齢者に対応できるよう、地域連携や人員確保などを十分にして、災害に備えたいと思いました。

貴重な講演ありがとうございました。

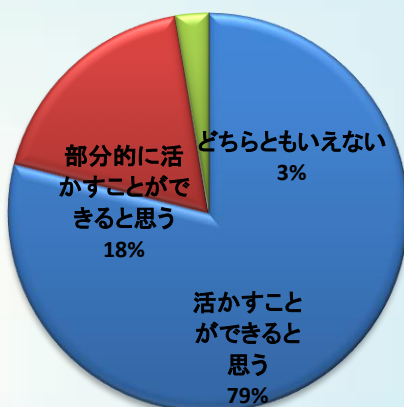
アンケート結果

回収率：86.3%(アンケート配布：44名、回収：38名)

1.なんケアの会に参加していかがでしたか？



2.今後、地域での活動に活かすことができそうですか？



会場の様子



↑講師の藤田先生



↑質疑応答

皆様からのご意見・ご感想

高齢の両親と共に暮らす中で、災害に対して少しずつ準備をしています。日頃からの備えや情報収集を続けていきます。

(介護支援事業所関係者)

忌憚のない内容で、大変勉強になりました。決め事の有効性が強いことに対しては、個人として対策する術をもっていることが重要と感じました。

(地域包括支援センター)

自分達が生活していく中で直面していくことなので、災害はいつ起きてもおかしくないということを頭に入れて今後も生活していきたいです。

(福祉用具貸与事業所)



次回開催のお知らせ

開催日時：令和6年10月4日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」